

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	がん特異的遺伝子変異に由来する抗原（ネオアンチゲン）の探索
	研究目的	がん細胞だけを選択的に攻撃する免疫療法開発のために、がん細胞に起きた遺伝子の変化の結果できる「がん細胞特異的抗原（ネオアンチゲン）」を見落としなく、かつ、効率良く見つける方法を、大腸がん患者さんの血清と病理標本を用いて確立することを目的とする。愛媛大学プロテオサイエンスセンター・プロテオ創薬科学部門との共同研究として実施する。
	研究期間	西暦 2017 年 5 月 11 日 ～ 西暦 2020 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を 利用します）		<input checked="" type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input checked="" type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	臨床研究所・がん分子病態学部・部長 宮城洋平
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	消化器外科（大腸）、病理診断科、臨床研究所・がん分子病態学部
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	愛媛大学プロテオサイエンスセンター・プロテオ創薬科学部門 部門長 竹田浩之